

サンガーデン便り

平成30年6月号



館内の見どころ

ブーゲンビリアの赤い花、シコンノボタンの青い花、タイサンボクの白い大きな花を觀賞できます。館外のカルチャーパークでは、6月中旬にハクウンボク、下旬にはヤマボウシの白い花を見ることができます。

園芸講座・展示会の開催案内(場所: 1階展示実習室)

6月2日(土)～3日(日)、山草盆栽展、

午前10時～午後4時

6月9日(土)、ミニ講座「挿し木の実習」

午後1時30分～午後3時30分、事前申し込み、先着20名

6月10日(日)、第2回菊づくり講習会、

午後1時30分～3時30分

6月17日(日)、小品盆栽講座「小品盆栽を育てる、整える」、午後1時30分～午後3時30分

6月の園芸作業

野菜や花のかん水は、毎日機械的に与えるのではなく、植物の様子を見て与えましょう。特に、鉢・プランターには、乾いたら鉢底に水が届くまでたっぷり与えます。水を控え気味にする場合は、一回の量を減らすのではなく、間隔をあけるようにします。

☆草花・球根類 自家育苗した花壇苗は、十分外気に慣らしてから定植します。植え付け後2～3年経過し株が混んできたスイセンやクロッカス・ムスカリは、葉が枯れてきたら、掘上げて陰干し後管し9～10月に植え付けても、株分け後すぐに植え込んでも良いでしょう。

☆家庭菜園 トマトなど果菜類の定植は中旬までにすませ、ビニールマルチやトンネル、不織布で保温し、生育を促進します。ジャガイモの培土は、芽が出始めてから10日後に5～6cmの厚さに、さらに10日後(草丈25cm



位の頃)に5～6cmの厚さに土を寄せます。

☆観葉植物・鉢花 観葉植物は植え替えや鉢増しの適期です。草ものは毎年、木ものは1年おきを目安に行います。株分け、取り木、挿し木、整枝なども適期です。戸外に出して育てる場合は、最初は風の無い曇りの日に戸外に出し、その後少しづつ戸外の時間を増やし外気に慣らしていきましょう。

☆洋ラン シンビジウムは昼夜とも戸外に出します。水が大好きなので、雨に当て、かん水は十分に与えます。肥料は置き肥と液肥を併用します。カトレア・コショウラン類は、室内で高温多湿気味に管理します。肥料は置き肥を月1回と液肥を週1回を目安で施します。

☆庭木 ツツジなどの花木類は、花が終わったら早めに花がらを摘み、整枝、剪定をします。

☆芝生 芝草は、刈り込みが刺激となって上に伸びるのではなく横に広がり、密な芝生になります。刈り込みは、長めの2.5～3cmの刈高で7～10日おきに定期的に行いましょう。いっきに短く刈り込むと、葉身だけになり芝草が弱ってしまいます。雑草抜き、施肥、目土入れ、エアレーション(穴開け)も今月に行いましょう。

苫小牧の気象経過と予報

6月は暖かい空気に覆われやすいため、太平洋側の平均気温は並み～高く、降水量と日照時間は平年並みと予報されています。

